

令和6年度 第2回 まちづくり専門委員会議（議事要旨）

日時：令和7年1月27日 9時30分～11時05分

場所：三宮国際ビル 7階 701会議室

出席者 まちづくり専門委員：角野委員、車井委員、清水委員、長野委員
神戸市関係：都市局まち再生推進課、東灘区地域協働課、灘区地域協働課、
須磨区地域協働課、垂水区地域協働課

傍聴者 0名

1. まちづくり協定の締結

まちづくり専門委員会議開催要綱第3条第1号に基づき意見をうかがった。

■御影中部まちづくり協定委員会の協定締結について（東灘区）

[意見]

- ・建替時に保留床がないと事業化が難しくなる可能性があるので、留意が必要。
- ・管理者の連絡先明示のルールについて、維持と管理の項目で分けている方が良いと思う。具体的には維持管理を適正に行うことを盛り込んでどうか。
- ・生垣等のルールは内容が分かりづらいので、高さや素材などもう少し具体的な説明の方が良い。
- ・自動販売機のルールについて、ゴミの問題に対応するために、ゴミの処理や片付けの内容を明確化しておくが良い。

2. まちづくり協定の更新

まちづくり専門委員会議開催要綱第3条第1号に基づき意見をうかがった。

■摩耶地区まちづくり協定の変更について（灘区）

[意見]

- ・協定内容を変更無しで運用していく中で、今後世代が変わっていったときに数字のデータを協議会も整理しておくことが、協定更新等に伴う説明会において効果的だと思うので、評価検証の仕組みとデータの蓄積は必要だと考える。
- ・共同住宅のルールについて、説明内容が一貫していない。否定的な表現とあわせて見直してはどうか。

■高尾台・水野町まちづくり協定の更新について（須磨区）

[意見]

- ・中層ゾーンのルールが制限したいのか活用したいのか分かりにくいメッセージになっている。高齢化率が高くなっているため、例えば中層ゾーンAを活用し、良質なマンションを誘致することで地域に刺激を頂くようなことも協定の見直しの中で、検討してみても良かったかもしれないと思う。

3. まちづくり支援事業の検証評価

まちづくり専門委員会議開催要綱第3条第6号に基づき、意見をうかがった。

■霞ヶ丘地域まちづくり推進会（垂水区）

[意見]

- ・都市計画道路の検討だけでなく、地域資源を活用した活動に広がっていったらと考える。

■新在家まちづくり委員会（灘区）

[意見]

- ・まちづくりの活動として行っている災害時のペット同行避難の説明会は、まちづくり協議会の活動を周知する取組みとして、良い事例だと思う。

■大石南町まちづくり協議会（灘区）

[意見]

- ・長期間にわたって、協議会活動を行っているが、新しいメンバーの加入や若い世代の意見を取り入れるなどとして、より活動を活発化してほしい。

■青木南まちづくり協議会（東灘区）

[意見]

- ・『海辺の環境を生かし』という大きなテーマがあるので、今後は海辺の環境や潤いを取り入れたまちづくりを考えてはどうか。

以上